

2013年10月吉日

お客様各位

CAESEKI.com 事務局
(カイセキドットコム)

「第25回 経営に貢献するCAEセミナー」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、CAESEKI.comにおきましては、恒例の掲記セミナーを以下のように開催いたします。

ご多忙の折、誠に恐縮ですが、是非ご出席を賜りたくお願い申し上げます。

敬 具

— 記 —

1. 名 称 : 第25回 経営に貢献するCAEセミナー
2. 開催日時 : 2013年11月22日(金) 13:00~19:30(懇親会を含む)
3. 会 場 : 富士通株式会社 関西システムラボラトリ
・住所 : 大阪市中央区城見2-2-6
・アクセス : JR大阪環状線 京橋駅下車 徒歩8分
4. 参加費 : 無料(懇親会を含む)
5. 申込方法 : 以下のURLよりお申し込みください。
<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/1564>
6. 定 員 : 150名
7. 趣 旨 :

製造業におかれましては、市場での生き残りを賭けて、製品の企画・開発プロセスのデジタル化を急速に進められています。その中でもCAEの活用は大きな役割を担っています。このような状況に対応して、CAESEKI.com事務局(富士通グループ)では、お客様にCAEに関する有用な情報をご提供すると共に、業種横断的な情報交流の場をご提供することを目的として活動しております。

本セミナーでは『経営に貢献するCAE』をテーマに掲げ、CAEの活用による開発プロセス革新、CAEの最新技術動向と活用、CAE人材の育成、CAEの企業内普及&地位向上など多岐にわたる観点でご講演いただいております。

8. CAESEKI.comについて

CAESEKI.comは、富士通株式会社が主催し、デジタルプロセス株式会社、株式会社富士通システムズ・イースト、富士通アドバンステクノロジー株式会社、株式会社富士通九州システムズが参加する日本最大級の解析シミュレーション・コンソーシアムの名称です。

セミナー連絡先:

株式会社富士通九州システムズ テクノロジーソリューション本部

担当 夕田、大村、吉野

電話番号: 092-852-3129

電子メールアドレス: seminar25@caeseki.com

ホームページURL: <http://www.CAESEKI.com/>

経営に貢献するCAEセミナー詳細

- ・開催日時：2013年11月22日(金) 13:00~19:30 (懇親会を含む)
- ・会場：富士通株式会社 関西システムラボラトリ 4階 大会議場

・セミナー内容

12:00	受付開始	
13:00 -13:10	ご挨拶	株式会社富士通九州システムズ 顧問 川田 敏郎 (株式会社富士通九州システムサービス 代表取締役社長)
13:10 -14:00	特別講演	「ものづくりにおけるCAEの役割」 株式会社神戸製鋼所 技術開発本部 機械研究所 研究首席 中川 知和 様
14:00 -14:45	事例講演 I	「スカイアクティブの開発 とそれを支えたモデルベース開発」 マツダ株式会社 パワートレイン開発本部 PTシステム開発部 部長 原田 靖裕 様
14:45 -15:00	休憩	(デモ)
15:00 -15:45	事例講演 II	「車両用電池システム設計におけるCAE活用」 プライムアースEVエネルギー株式会社 第2技術部 部長 岡 龍祐 様
15:45 -16:30	事例講演 III	「超高速衝突分野における実験/計算力学の現状と課題」 国立大学法人 九州工業大学 産学連携推進センター センター長 赤星 保浩 様
16:30 -16:50	休憩	(デモ)
16:50 -17:35	事例講演 IV	「世界最先端の心臓シミュレータ UT-Heart のご紹介」 富士通株式会社 ヘルスケア・文教システム事業本部 生体シミュレーション開発室 室長 門岡 良昌 様
17:35 -17:50	TCクラウドのご紹介	富士通株式会社 TCソリューション事業本部 HPCアプリケーション統括部 マネージャー 宮原 豊
18:00 -19:30	懇親会	会場：4階 従業員食堂

注. プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご講演要旨

特別講演

「ものづくりにおけるCAEの役割」

株式会社神戸製鋼所 技術開発本部 機械研究所 研究首席 中川 知和 様

数値シミュレーションは、製品の設計や生産に幅広く適用されていますが、真に役立てるには、その利用技術の蓄積が重要です。

講演では、弊社における鉄鋼生産や機械設計のCAEを例に、成果を挙げるための活用方法について私見を述べます。また、CAE技術者に要求される知識、技能、思考方法についても触れたいと思います。

事例講演Ⅰ

「スカイアクティブの開発 と それを支えたモデルベース開発」

マツダ株式会社 パワートレイン開発本部 PTシステム開発部 部長 原田 靖裕 様

車両システムは、複雑、巨大化しつつ、高度な機能を実現してきており、その進化は今後ますます加速しています。このような高度なモノづくりを短期間で成し遂げるには、モデルベース開発が必要不可欠となってきています。

今回、マツダ SKYACTIVE の開発事例を引用しながら、モデルベース開発で目指したこと、実現できたことを紹介し、モノづくりのあるべき姿を展望します。

事例講演Ⅱ

「車両用電池システム設計におけるCAE活用」

プライムアースEVエナジー株式会社 第2技術部 部長 岡 龍祐 様

車両用の電池システム開発では、搭載に関する強度、冷却の最適設計と電池入出力の状況を把握するためにCAE解析を適用している。

これらは総合的な判断が必要で、設計者自身が解析を実施する必要がある。

弊社では、設計者の解析スキルの向上を図るとともに、外部専門会社で専用マニュアルの作成を行うことで、早期の戦力化に努めている。

CAE活用を行うことで、早期に技術課題の潰し込みができるようになるとともに、設計者が自信を持った設計ができつつある。

事例講演Ⅲ

「超高速衝突分野における実験／計算力学の現状と課題」

国立大学法人 九州工業大学 産学連携推進センター センター長 赤星 保浩 様

九州工業大学では1997年から宇宙ごみと宇宙機器との超高速衝突現象に着目し、その破壊メカニズムの解明に対して実験的側面から取り組んできた。

本講演では、宇宙ごみ問題の現状、二段式軽ガス銃を用いた超高速衝突実験例（超小型人工衛星の完全破壊実験、多重壁防御構造を利用した防御実験）、超高速衝突実験の国際標準化活動（ISO11227の成立にむけて）、超高速衝突分野における計算力学の現状と課題などについて紹介する。最後にこの分野における人材育成についても言及する。

事例講演Ⅳ

「世界最先端の心臓シミュレータ UT-Heart のご紹介」

富士通株式会社 ヘルスケア・文教システム事業本部

生体シミュレーション開発室 室長 門岡 良昌 様

富士通が東京大学久田・杉浦研究室と共同で研究開発中のマルチスケール・マルチフィジックス心臓シミュレータ UT-Heart についてご紹介します。CTやMRIによる医療画像データをもとに、患者の心臓をコンピュータの中で再現します。組織、臓器レベルでの力学現象および電気生理現象がモデル化されており、心筋の動きや心臓全体および冠循環の血液の流れだけでなく、心電図の再現も可能です。また、心筋細胞の精緻なモデル化にも成功しており、「京」のような大規模なスーパーコンピュータを活用することにより、細胞レベルでの生化学反応によるタンパク質の挙動が心臓全体に与える影響の解析、あるいはその逆の解析も可能となります。

本セミナーは技術の研修を目的とするものではありません。あらかじめご了承の程よろしく申し上げます。

会場のご案内

セミナー会場 : 〒540-8514 大阪府大阪市中央区城見2-2-6

<http://jp.fujitsu.com/facilities/kansai/> もご参照ください。



- ・JR大阪環状線 京橋駅（西口）より 徒歩6分
- ・地下鉄鶴見緑地線 大阪ビジネスパーク駅（4番出口）より 徒歩5分
- ・京阪線 京橋駅（片町口）より徒歩6分

ご来場の際は、最寄りの公共交通機関をご利用下さい。